

3月

新 着 図 書

李王家の縁談

著者名： 林 真理子
出版社： 文藝春秋

いつの時代も、高貴な方々の結婚問題はむずかしい――

梨本宮伊都子妃は、娘・方子女王の結婚相手探しに奔走していた。なかなか身分の釣り合う婿が見つからないのだ……。方子女王が皇太子妃になる道が潰えた今、方子がみじめな思いをしないように、一刻も早く、良縁を見つけてやらなければならない。

おわかれはモーツァルト

著者名： 中山 七里
出版社： 宝島社

2016年11月。盲目ながら2010年のショパンコンクールで2位を受賞したピアニスト・榊場隆平はクラシック界の話題を独占し人気を集めていた。しかし、「榊場の盲目は、自身の付加価値を上げるための芝居ではないか」と絡んでいたフリーライターが銃殺され、榊場が犯人として疑われてしまう。事件は深夜、照明の落ちた室内で起きた。そんな状況下で殺人ができるのは、容疑者のうち、生来暗闇の中で暮らしてきた榊場だけだと警察は言うのだ..

むき出し

著者名： 兼近 大樹
出版社： 文藝春秋

小さい頃から、殴って、殴られるのが普通だった。誰も本当のことを教えてくれなかった。なぜ自分だけが、こんな目にあうんだろう――上京して芸人となった石山の前に現れる、過去の全て。ここにいるのは、出会いと決断があったから。著者渾身の、初小説。

赤と青とエスキース

著者名： 青山 美智子
出版社： PHP研究所

メルボルンの若手画家が描いた一枚の「絵画（エスキース）」。日本へ渡って三十数年、その絵画は「ふたり」の間に奇跡を紡いでいく――。二度読み必至！ 仕掛けに満ちた傑作連作短篇。

果鋭

著者名： 黒川 博行
出版社： 幻冬舎

大阪府警の堀内は恐喝がバレて依願退職。民間に拾われるが、暴力団と揉めて刺され、左脚に障害が残る。収入はゼロになり、女には逃げられ……。そんなとき刑事時代の相棒、伊達が二十兆円市場と言われるパチンコ業界にシノギを見つけ、協力を求めてきた。警察、極道との癒着、不正な出玉操作――業界の闇に、堀内は己の再生も賭けて切り込む。

フェイクフィクション

著者名： 誉田 哲也
出版社： 集英社

首なし死体がすべての始まりだった。警察組織vs悪魔と呼ばれる男vsカルト教団vs元キックボクサー。囚われた“彼女”の奪還。愛する人を失った者たちの復讐劇――。疑いなき信仰心に警鐘を鳴らすセンセーショナルな最新長編。

ペッパーズ・ゴースト

著者名： 伊坂幸太郎
出版社： 朝日新聞出版

中学校の国語教師・檀干郷（だんちさと）は、受け持ちの女子生徒から自作の小説原稿を渡される。その小説の中では、猫を愛する奇妙な二人組・ネコジゴハンターが大暴れしていた。そして檀先生は、ある条件下で他人の明日の体験が少しだけ観えるという、不思議な力を持っていた。ネコジゴハンターとは何か。父の言葉、悲観と楽観、猫と野球……。檀先生が「サークル」に関わるにつれ、物語は加速していく。

熔果

著者名： 黒川 博行
出版社： 新潮社

消えた5億円の金塊を追え！ 日本中の悪がシノギを削る、痛快クライムサスペンス。白昼堂々起こった5億円の金塊強奪事件。かつて大阪府警のマル暴刑事だった堀内と伊達は、事件の裏に下関港で発生した金塊密輸事件との繋がりを嗅ぎ取る。未だ押収されていない金塊の行方を追う二人に、ヤクザ、半グレ、汚職警官たちが襲い掛かる！ 暴力と混沌の中でしか生きられない男たちを描くノワール小説の最高峰。

月曜日の抹茶カフェ

著者名： 青山 美智子
出版社： 宝島社

この縁は、きっと宝物になる――。人は知らず知らずのうちに、誰かの背中を押していることに気づく、一杯の抹茶から始まる、東京と京都をつなぐ12カ月の心癒やされるストーリー。

著者名：
出版社：